

東北総合通信局

採用案内

とどけ、未来へ。



「情報通信」の明日を拓く。

総務省は情報通信基盤の整備とICT利活用を推進しています。

私たち東北総合通信局は、総務省の地方機関として東北6県を管轄しています。

今や私たちの生活に欠かせない携帯電話やインターネットなどの情報通信。

この情報通信により社会生活における情報のやりとりを円滑なものとし、

私たちの生活をより豊かなものとするに取り組んでいます。

——身近に存在する情報通信を、人と社会の今と未来のために生かしたい。

私たちとともに、可能性に満ちた情報通信の明日を拓き、地域社会の発展に貢献しませんか。

そのチカラ

とどけ、未来へ。



「新たな日常」を支える情報通信基盤の整備

東北地域が抱える課題を解決するため、ICTインフラ整備の推進、5G・IoT等の高度無線環境を支える高速・大容量ネットワークの整備を支援しています。また自治体や企業、教育機関等が協力して立ち上げた「東北5Gデジタル変革推進フォーラム」では、デジタル変革の最新動向や業種・地域に応じたソリューションの紹介、計画立案などを支援・推進しています。



デジタル活用支援

働き方改革やテレワークを検討する自治体・企業のサポートや、スマートフォンによる行政手続やサービス利用の普及など、デジタル活用支援に取り組んでいます。また先進的技術や専門的知見を交わすセミナーなどを開催し、専門家による助言・育成の機会創出を推進しています。自治体等が抱える地域課題を公募し、ICT・IoTを活用した解決策を企業等から提案いただき、それらのマッチングを図る「地域課題解決マッチング会」を開催し、課題解決の後押しを行います。



安心・安全なICT利用環境の保護

ICTの普及に伴い、自治体、電気通信事業者、放送事業者、企業等へのサイバーセキュリティ対策を支援・推進しています。また子どものインターネットリテラシー向上を図るため、e-ネットキャラバンによる出前講座を実施しています。不法・違反無線局や重要無線通信に対する妨害事案に対しては厳正に対処し、電波利用の適正化と安心・安全な社会基盤を支えています。

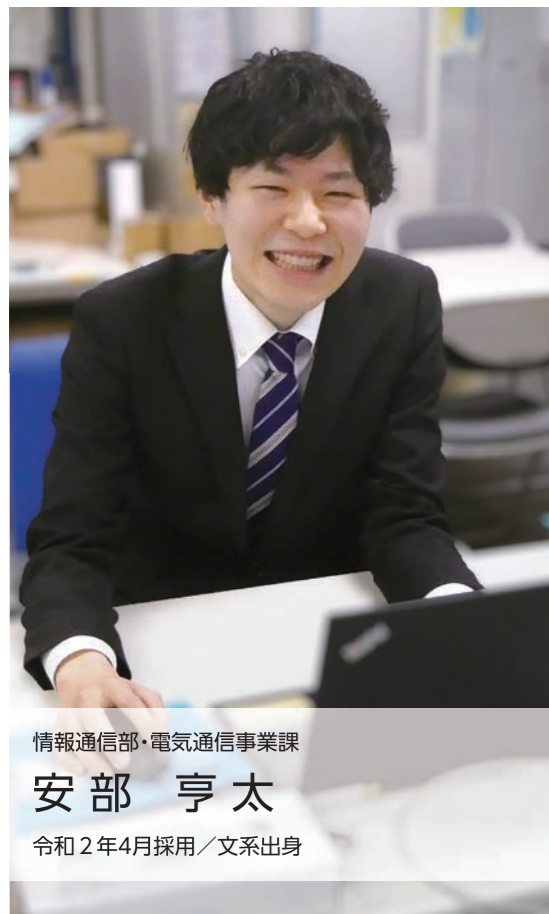


東日本大震災からの復興と防災・減災

復興支援のため、引き続き関係自治体からのニーズを把握し、地上デジタルテレビ放送の受信、ブロードバンド基盤や携帯電話エリアの整備等、ICT基盤の構築・支援を行っています。また、東日本大震災の教訓により開発されたD-SUMM(災害状況要約システム)等の自治体への紹介など「災害に強いICT」の社会展開を全国に推進しています。災害発生時の円滑な活動に資するため、各県等が主催する防災訓練へ参加し災害対応能力の強化に努めています。



先輩からのメッセージ



情報通信部・電気通信事業課

安部 亨太

令和2年4月採用／文系出身

最先端の情報通信に関わることでできる仕事です。

私は現在、電気通信事業課に所属しており、主に携帯電話を販売する代理店の監督や、電気通信関係の資格の交付などを行っています。法律や規則に照らし合わせて書類を審査するデスクワークが中心ですが、県外の中学校に赴いて講義をするなどの出張もあります。

「通信局」と聞くと、理系のイメージを持たれる方が多いかと思いますが、かく言う私も大学は文学部出身で、情報通信や電波とは無縁の人間でした。ほぼゼロからのスタートでしたが、通信局では研修制度が充実しており、普段の業務でも上司が丁寧にサポートしてくださるので、安心して仕事に取り組むことができました。皆さんも入局前に知識面で不安を感じる必要はありません。

また、通信局はワークライフバランスが充実しており、とても働きやすい職場です。休暇を取得しやすいだけでなく、テレワーク勤務やオンライン研修も積極的に取り入れているので柔軟に働くことができます。当局に少しでも興味をお持ちの方は、ぜひ説明会にお越しください！

趣味

映画鑑賞

早起きして映画やドラマを観るのにハマっています。

身近な電波を監理する仕事。

私は現在、無線通信部陸上課に所属し、主に公共業務用やアマチュア業務用の無線局に係る許認可事務を担当しています。インフラ運営を目的としたものから個人の趣味・研究を目的としたものまで、様々な形態の無線局に触れながら東北の通信行政に携わることができるという点で、非常に魅力的な仕事だと思っています。

とはいえ、私自身最初から総合通信局の業務に関心があつたわけではありませんでした。文系学部出身であったため、無線工学や情報通信に関する知識をほとんど持ち合わせておらず、入局直後は業務に対する不安が非常に大きかったことを覚えています。しかし、OJTや各種研修等によって実践的な知識を身につけられることに加え、困ったときは周囲に相談しやすい環境であるため、今では安心して働くことができます。

文理問わず様々なバックグラウンドを持った人が活躍できる職場であるため、まずは業務説明会や官庁訪問に参加し、総合通信局の業務に興味を持っていただけたら幸いです。皆様と働ける日を楽しみにしております。

好物

コーラ

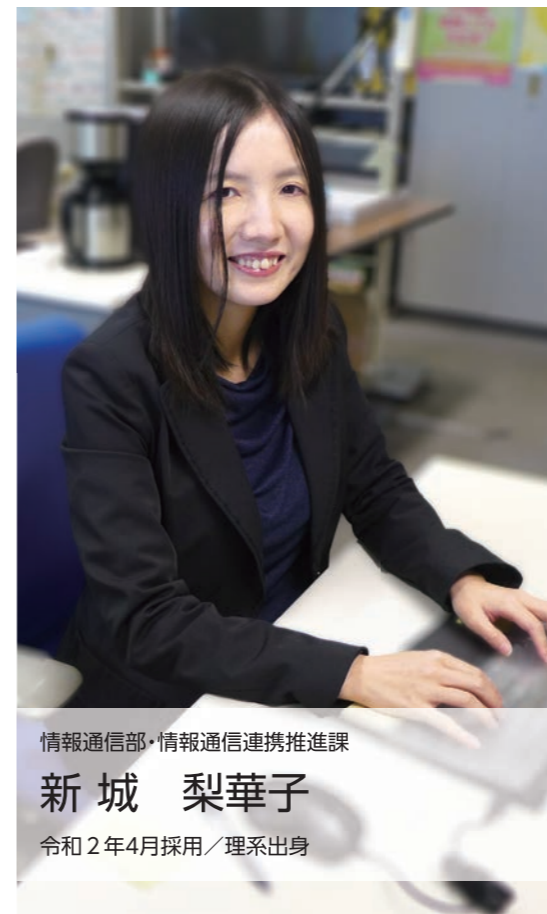
癒やしと活力をくれます。



無線通信部・陸上課

武藤 直人

令和2年4月採用／文系出身



情報通信部・情報通信連携推進課

新城 梨華子

令和2年4月採用／理系出身

地域の方々と共に、東北地方のICT利活用を推進。

「連携推進」という言葉でどのようなイメージが思い浮かびますか？私が働く情報通信「連携推進」課では産学官連携によるICT利活用の推進に関する業務を行っています。

今年度特に取組を強化したのは、テレワークの推進とICTスタートアップ支援です。テレワークについては、企業や自治体対象のセミナーを複数回実施し、コロナ禍だけでなく今後の働き方改革としてのテレワーク導入のイロハや注意事項等を広く伝える活動を行いました。

一方、ICTスタートアップ支援とはICTに関する起業を支援する活動です。ICT利活用のための研究開発支援の延長線上にあるもので、東北の多くの団体と協力し「SPARK!TOHOKU2020 Startup Pitch」を開催しました。当初、起業支援という活動への戸惑いもありましたが、地域課題解決に寄与し東北を元気にするICTスタートアップ創出への支援がICTの更なる発展の一助となると今はやりがいを感じています。

以上のように、私の今の仕事は東北総合通信局でも、特に新規性があり新しく学ぶことも多い面白いものです。皆さんとともに働ける日を楽しみにしています！

目標

仙台を満喫したいです！

美味しいモノ・温泉・観光地…。

本省経験が次のステップに。

私は2年間の本省勤務を終了して東北に帰ってきました。もともと東北の情報通信環境の改善に携わりたいと思い入局したため、本省に異動する前から、期間後は東北に戻ると決めていました。本省では補助金を担当する部署に配属され、公募から終了後の評価までの補助金関係の業務を一通り行い、地方に戻っても役に立つ経験を積むことができました。

過去に補助を行った事業者や関係者がイベントに出展することもあり、その際には会場に赴いて他の出展者の展示を見たり、意見交換したりといった東京ならではの楽しみもありました。また、東京に同期が集まるため、定期的に同期会が開催されていたり、東北出身者の親睦会が開かれていたり寂しいと感じる間もなく2年が過ぎました。あまり地方と連携する業務ではありませんでしたが、公募開始などの周知や、事業者を訪問して行う検査では協力してもらっていたため、地域に密着した業務が地方局の特徴であり魅力でもあったと感じました。

これからは、本省勤務で学んだことを生かし、東北地方の発展のために務めていきたいと思っています。

趣味

図書館通い

週に一度、仕事帰りに通っています。



総務部・財務課

平野 智美

平成28年4月採用／理系出身

安心して働ける職場環境

POINT
1

最先端のICTで東北の未来を創る。

最先端のICT(情報通信技術)に触れ、その利活用に取り組むことにより、東北地方の活性化と、より豊かで安全・安心な未来づくりに貢献できます。

POINT
2

成長の機会にあふれています。

ICT(情報通信技術)は、今後も成長し続ける分野として諸外国でも経済成長の柱として期待され、国家戦略が策定されています。私たちもこのICTによる様々な経験から可能性を広げ、成長し続けています。

POINT
3

研修制度が充実しています！

電波法などの法令や情報通信技術に関する知識が必要になりますが、これらの知識は採用後の研修で身につけられるほか、配属先での業務内容に応じた研修が実施されています。情報通信をよく知らなかった人もスペシャリストとして活躍できます。

POINT
4

ワークライフバランスに優れています！

年次有給休暇は大半の職員が取得し、超過勤務は局内平均月10時間以内です。さらに金曜日は定時退庁日とし、十分な余暇を確保できます。

POINT
5

通勤も楽々！

仙台の中心市街地・勾当台公園駅に近く、JR・地下鉄・バスを利用しての通勤が可能です。地下鉄南北線「勾当台公園駅」からは徒歩3分の好立地！

募集要項

採用資格	●国家公務員採用一般職試験に合格した方の中から、毎年必要数を採用します。
勤務地	●東北総合通信局／仙台市青葉区本町3-2-23(仙台第2合同庁舎12～15階) ※基本的に転勤はありませんが、採用後3年目に2年間の本省勤務が予定されています。
職種	●一般行政事務
給与等	●初任給(一般職試験・新卒)／約18万円(1級25号俸) ※経年数等により調整されます。 ●各種手当あり／超過勤務手当・地域手当・通勤手当・住居手当・扶養手当等 ●期末・勤勉手当(賞与)／6・12月の年2回
休日・休暇	●休日／土・日曜日(週休)・祝日・年末年始 ●年次有給休暇／年間20日(4月採用の場合は初年15日) ●特別休暇／結婚・出産・介護等、特別の事由により取得可。 ●夏季休暇／7～9月に3連休を取得可。 ※その他、病気療養休暇・育児休業制度があります。
勤務時間	●勤務時間／8:30～17:15(フレックスタイム可) ●休憩時間／12:00～13:00

東北総合通信局組織図

当局は情報通信行政を所掌する総務省の地方支分部局で、東北6県を管轄しています。

東日本大震災復興対策支援室	東日本大震災からの復興支援	
サイバーセキュリティ室	サイバーセキュリティの確保	
総括調整官	防災対策推進室	防災及び減災の対策の推進
	総合通信相談所	情報通信行政全般に関する相談窓口
総務部	総務課／企画広報室	局の事務の総括・人事／広報・WEBサイト・報道機関窓口
	財務課	会計・契約・庁舎管理、電波利用料の債権管理・徴収業務
	信書便監理官	信書便に関する許認可
情報通信部	電気通信事業課	電気通信事業の登録・届出等の手続及び資格者証の交付、e-ネットキャラバンの推進、電気通信サービスに関する相談
	情報通信連携推進課	情報通信分野における国・地域の連携推進、研究開発支援、ベンチャー企業支援、デジタルコンテンツ流通促進
	情報通信振興課	地方公共団体の地域情報化・ブロードバンドの整備支援
放送部	放送課	放送事業者の無線局の免許・検査／テレビ・ラジオの受信障害の相談
	有線放送課	ケーブルテレビ事業の許認可、共同受信施設等の設置
無線通信部	電波利用企画課	地域における電波利用の促進・調査、周波数の管理・公開、電波利用状況の調査・公表、電子申請の普及促進
	航空海上課	航空機及び船舶の無線局並びにこれらと通信をする無線局の免許・検査、無線従事者の免許・養成課程の認定
	陸上課	陸上関係無線局の免許・検査、重要無線通信の電波伝搬障害防止に関する手続・相談
電波監理部	電波利用環境課	高周波利用設備の許可、登録検査等事業者の登録・検査等、安心安全な電波利用の周知
	監視課	電波の監査、違反無線局の探査
	調査課	重要無線通信妨害対策、不法無線局の探査、電波の発射状況調査、電波監視施設の整備

※2022年4月現在



 地下鉄南北線「勾当台公園駅」より徒歩3分。



東北総合通信局

総務部総務課人事係

〒980-8795 仙台市青葉区本町3丁目2-23 仙台第2合同庁舎12階
TEL.022-221-0606 / FAX.022-221-0612

東北総合通信局



www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/



facebook.com/
tohoku.bt



twitter.com/
tohoku_bt

